

京丹波町社協だより

本誌は共同募金の配分金によって作られています。



ほほづみ

平成26年

1月号

No.26

もくじ

- 理事・監事の新春メッセージ… 2
- 第2回福祉まつり…………… 6
- 作業所NEWS…………… 10
- 社協事業の紹介…………… 11
- 京都府社会福祉大会…………… 11
- 26年度福祉関係予算要望書を町長へ… 11
- 寄付お礼…………… 12
- 共同募金報告・お礼…………… 12

若き和太鼓演奏のように
躍動する地域福祉を目指して

第2回福祉まつり開催(6ページ参照)





たにがき いさむ
谷垣 勇 副会長
(選出／学識経験者)

助け合う社会へ

Tanigaki Isamu

昨年は記録的な暑さによる熱中症の発生、また、台風18号による家屋への浸水など非常時における高齢者世帯、独居高齢者への安否確認や避難などが注目されました。常日頃の見守りなど、近隣者の共助による人と人とのつながりが大切であると共に、助け合って生きていく社会であってほしいものです。

今年はどうか平穏無事な年であることを祈るものです。(京丹波町水原)



かたやま まさき
片山 勝紀 理事
(選出／民児協)

社協事業の理解を

Katayama Masaki

少子高齢化が進む中で、地域で住民が安心して暮らせるよう願うのは誰しも同じで、社協の重要性は不可欠で、地域福祉社会の一層の充実が求められる。

社協の事業には子育てから障害者、高齢者支援まで幅広く、数多くある事業の中身が知られていない実情もあり、支援を利用するのに戸惑いを感じさせる人に「きっかけづくり」をしていくことも大切であると思います。(京丹波町広野)



いしだ みえ
石田 美恵 理事
(選出／民児協)

一人ひとりに寄り添った支援を

Ishida Mie

誰もが安心して住み続けることができる地域社会づくりのためには、「一人ひとりに寄り添った支援」が最も大切だと感じています。

地域のネットワークと福祉関係機関との連携をとりながら、皆さんが安心して生活できるように努めていきたいと思っています。(京丹波町蒲生蒲生野)



にしむら まさお
西村 正男 理事
(選出／区長会)

「こんな温かい地域に住みたい」と 思える環境づくりに

Nishimura Masao

新春を迎え、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

少子高齢化が急速に進む社会にあって、今、近隣での心の通う声かけや支え合いが最も大切ではないでしょうか。また、若い人たちが「こんな温かい地域に住みたい」と思える環境づくりが必要とも思います。

まずは、老いも若きも社会福祉に関心を持っていきたいものです。(京丹波町水呑)

New Year's greeting ～新春メッセージ～

謹賀新年 2014年 京丹波町社会福祉協議会 理事・監事新春メッセージ

新しい年のスタートにあたり、社協理事・監事18名から、
それぞれのメッセージをお届けします。



はせ たかずみ
波瀬 孝澄 会長
(選出/学識経験者)

年頭にあたり

Hase Takazumi

新春をお祝い申し上げます。

さて、本町においても超高齢社会・核家族化等進行する中、独居高齢者、高齢者世帯が増加し多様な生活課題が顕在化、地域福祉の再構築が大きな課題となっています。

このような状況下において福祉従事者として行政、民生児童委員協議会、福祉関係者等と連携を密に地域の皆さんの福祉ニーズに即した活動に努めて参ります。
(京丹波町豊田)



しょうた やすたけ
正田 恭丈 副会長
(選出/学識経験者)

福祉関係者と協力し

創意工夫をこらした取組みを

Shouta Yasutake

住民の最も身近な地域で活動しているのが社協です。高齢者や障害者の在宅生活を支援するため、様々な福祉サービスを行っているほか、多様な福祉ニーズに応えるためには地域の特性を踏まえ、創意工夫をこらした独自の取組みが必要です。

地域の民生児童委員・社会福祉関係者と協力し、役割を果たしていきたいと思ひます。
(京丹波町小畑)



たなか つよし
田中 強 理事
(選出/民児協)

もっともっと社協の活用を

Tanaka Tsuyoshi

新年あけましておめでとうございます。

いま社会は超高齢化時代に入り、人間関係の希薄化により生活課題、福祉課題を始めさまざまな問題が深刻化しています。地域の一人ひとりが共に支え合い助け合っていくことが最も重要です。そのために本人の自発性、本人の意欲が必要不可欠であり、誰もが安心して安全に暮らせる町づくりに地域福祉の推進に社協を活用下さい。

(京丹波町鎌谷中)



きっかわ ふみのり
吉川 文則 理事
(選出/区長会)

区と社協の関わりを深めて

Kikkawa Fuminori

少子高齢化は今や京丹波町のみならず、全国の地方町村における共通の悩みと申せます。それだけ福祉行政が重要な位置付を占めてきております。

その中で、社会福祉協議会が担う役割も、また重きを成してきていると思っています。これからは、いかに住民全員参加の社協にしていけるか、そのためには地域のあらゆる区に呼びかけて社協への関与を深めていただくことが重要と思ひます。助け合いの気風が薄れていく今、社協の重責を感じます。(京丹波町下山グリーンハイツ)



のぐち としかず
野口 利和 理事
(選出／老人クラブ連合会)

少子高齢化社会の福祉

Noguchi Toshikazu

少子高齢化社会を迎え、京丹波町では高齢率が36.3%で超高齢化社会を迎えており、福祉に携わる者の大半が高齢者である。また、農業を支えているのも高齢者である。このような現状のなかで福祉の役割は大きい。

安心して暮らせる町づくりは福祉の充実である。今後も町行政と社会福祉協議会が一体となって福祉社会の充実を図ろう。(京丹波町升谷)



いちたに しずお
一谷 静夫 理事
(選出／福祉団体・機関)

決意新たに

Ichitani Shizuo

超高齢化世界一、人生九十歳時代に突入した。

老々介護、独居高齢者、重度障害者、山積する福祉課題の解決には、行政や社協だけでは困難である。地域での民生委員やボランティアの方々の協力は言うに及ばず、住民一人ひとりが自分に今何ができるか、まず行動することが重要である。八十五歳になって、まだまだこれからと決意を新たにしている正月である。(京丹波町口八田)



えもと まさあき
江本 正昭 理事
(選出／福祉事業団体)

地域に根ざした活動を

Emoto Masaaki

京丹波町では少子高齢化の進行が著しく、福祉ニーズは多様化しており地域福祉の推進役である社協の役割はますます重要になってきております。

社協の運営には地域の皆様方のご理解とご支援が不可欠であり、もっと地域に出掛けて社協の活動を知っていただくとともに、福祉ニーズ等を把握して誰もが暮らせる地域づくりに貢献していくことが大切です。(京丹波町下栗野)



おかもと さとみ
岡本 佐登美 理事
(選出／町行政)

元気で長生きできる

まちづくり

Okamoto Satomi

高齢化が進行する中で、地域での支え合いが大切ですが、一日でも長く健康で暮らせるように一人ひとりが予防することも大切です。

住民健診受診による健康管理をはじめ、ラジオ体操も手軽にできる健康づくりのひとつです。

また、地域で開かれるサロンや健康教室にも積極的にご参加いただいて、生活習慣病予防や介護予防にお役立て下さい。(京丹波町蒲生)



えのもと ふじお
榎本 藤雄 監事
(選出／学識経験)

地域福祉の拠点です

Enomoto Fujio

社協は、地域福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。高齢者、障がい者また子育て世代の皆さんが、住み慣れた地域で、安心して生活ができるように、行政・民生児童委員・ボランティア等と連携、協力して、介護保険事業、共同作業所運営、ファミリー・サポート・センター事業等のさまざまな福祉サービスを行っています。お気軽に何でもご相談ください。(京丹波町下栗野)



しかた としかず
四方 敏一 理事
(選出/区長会)

元気で笑える地域づくり

Shikata Toshikazu

新春をお慶び申し上げます。

充職の社協理事に就任して二年目、社協活動の最前線を見させていただきました。福祉に対して、多様化する「ニーズ・期待」に応えるために、地域と共生した活動が課題であり、最も重要だと考えます。

「元気で笑える地域づくり」更なるご支援・ご協力をお願いします。(京丹波町本庄)



たばた みこ
田畑 美さ子 理事
(選出/ボランティア代表)

見守り活動の中で 地域貢献の人材育成を願う

Tabata Misako

東日本大震災の復興活動が続くなか、去年は私たちも台風の自然災害に遭い、丹精込めて作った田んぼに土砂・ゴミが流れ込んだ。家族総出で土砂に埋まった稲を刈り取り、どうにか一年分の米を確保することができた。この活動をとおして人とのふれあいが更に強くなったと思う。

「ふるさとを守る食の応援隊」の取組みに参加させていただき、人材の育成の大切さを感じました。(京丹波町蒲生蒲生野)



やました のりこ
山下 典子 理事
(選出/女性の会)

安心して暮らせる地域、 温かい人と人の つながりある町づくり

Yamashita Noriko

社協の事業活動を知るにつれ、その対象となる範囲の広さ、内容に驚いています。また、地域住民がお互い様に助け合ったり支え合ったりする事の大切さも感じました。

すべての人が安心して暮らせる地域、温かい人と人のつながりのある町づくりのために、女性の会として微力ではありますが貢献したいと思います。(京丹波町豊田)



しのづか のぶたろう
篠塚 信太郎 理事
(選出/町議会)

きめ細かい生活支援サービスの充実に 社協が果たす役割は大きい

Shinozuka Nobutaro

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく、一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が課題である。具体的には、24時間対応の定期巡回・随時対応の介護サービスやきめ細かい生活支援サービスの充実などに社協の果たす役割は大である。

(京丹波町実勢)



こばた けいいち
小畑 圭一 監事
(選出/学識経験者)

社協活動の将来を展望して

Kobata Keiichi

新春を寿ぎご祝詞を申し上げます。

昨年よりご縁あって、監事に就任しております。さて、近年高齢化が進み相俟って限界集落が随所に見られる現象にあって、社協活動が住民の方々に如何にして満足いただけるか問われています。高齢者から若い世代までみんながこの町に住んでよかったと思われるように努めて参ります。(南丹市園部町)

第二回

福祉まつり

秋晴れの好天のもと、たくさんの方々の協力を得て盛大に開催。

平成25年9月29日(日)／山村開発センターみずほにて

主催 京丹波町社会福祉協議会
京丹波町社協ボランティアバンク運営委員会
後援 京丹波町
京丹波町健康づくり推進協議会

瑞穂鼓太鼓の勇壮な和太鼓演奏で幕を開けた第2回福祉まつりでは、参加者やボランティア、社協スタッフを含め約550名の参加をいただき、盛大に開催することができました。

式典では、永年にわたるボランティア活動への功績をたたえ、個人39名とボランティアサークル1団体(8ページに受賞者名簿掲載)に社協会長から感謝状が授与されました。その後のステージ発表では、大正琴同好会、手話サークル「いちよう」、コーラスサークル「カナリア」の皆さんから日頃の活動を披露いただきました。

午後からはMottoひょうご事務局長の栗木剛氏を講師に招き『いつも笑顔ではつらつ人生』と題して講演いただきました。

栗木氏からは、地域のボランティア活動や自治会の担い手が、後継者不足となつている課題に触れ、家に閉じこもつて参加されていけない方を、どのように声をかけするのがいいのか、漫談調の口調で分かりやすく話され、参加された皆さんはどんどん引き込まれていきました。また、「日頃から様々な活動に参加している方は家から出て、人と出会い、人と話すことで脳を刺激し、知らず知らずのうちに認知症予防ができています。一人ひとりが活動をつうじて認知症を予防すれば、医療費の拡大を防ぎ、子や孫に負の遺産を残さずにすむのです。」と、活動することが健康寿命を延ばしていることについても説明いただき、参加者からは、「お腹の底から笑えたと共に、私たちが持つているストレスを和らげる素晴らしい講演であつた。」と絶賛する声が多く聞かれ、今後の活動を広げる良いヒントをいただきました。

つづみだいこ

①瑞穂鼓太鼓によるオープニングでは、子どもから大人までが共演する和太鼓演奏で盛り上げていただきました／②晴天に恵まれ、屋外の模擬店コーナーも大盛況／③ホール内もほぼ満席状態／④栗木氏の講演会では、漫談調のおしゃべりと文字どおり「客席に迫る大迫力」で、参加者は引き付けられました。





⑧ステージ発表いただいた大正琴同好会（和知）より、『木曾路の女』『あの丘を越えて』の演奏を／手話サークル「いちよう」からは『四季の歌』を会場のみなさんと一緒に手話歌で♪／コーラスサークル「カナリア」からは、『富士山』『believe』『ふるさとの四季』の3曲を披露いただきました／保健師による健康コーナーとして、骨密度測定、血圧測定なども実施していただき、福祉と保健の連携も更に深まりました



④



くりき つよし

栗木 剛氏 1959年岡山県生まれ
『楽しくなくっちゃ、講演会じゃない!』をモットーに、福祉・青少年育成・子育て・人権などの分野で講演活動中。『変わらないためには、変わり続けることが大切』
好きな動物・ヤギとダチョウ

福祉まつり

いつも笑顔ではたらく人生
講師 栗木 剛氏



⑤会場入り口ではここたん（上野サロン作成）がお出迎え／⑥キッズコーナーでは「ファミリー・サポート・センター提供会員」による絵本の読み聞かせも行いました。



第二回

受賞者名簿

ボランティア活動功労者表彰

(敬称略)



①受賞者を代表して、左から保育ボランティアキティ代表吉田美枝子様、片山京子様（上乙見）、長澤かほる様（上野）、谷岡弘様（橋爪）

安栖里	広野	大篠	広瀬	本庄	下見	上見	長瀬	大迫	篠原	大倉	市川	井村	大井	和	橋	田	瓜	上	豊	森	曾	蒲生	須新	水	
里	野	篠	瀬	庄	見	見	瀬	迫	原	倉	場	尻	朴	田	瓜	上	豊	森	曾	蒲生	須新	水	知	戸	
森	新	才	石	小	澤	片	山	河	大	金	藤	越	松	村	田	岩	西	谷	嶽	三	片	伊	與	岩	船
宮	村	原	森	田	山	口	谷	田	子	本	川	村	井	中	本	山	岡	本	嶋	山	野	井	野	戸	崎
歌	敏	路	茂	美	恵	京	勤	市	絹	和	美	洋	磨	貞	朋	節	き	泰	和	道	朝	三	雅	好	福
子	子	子	子	幸	子	子	子	子	江	子	江	牧	子	子	子	子	弘	枝	子	子	子	子	子	子	子

ボランティア個人(39名)

丹波地区
保育ボランティア
キティ

ボランティア団体(1団体)



昨年に引き続き、ボランティアバンク運営委員会との共同で開催したこの福祉まつりでは、前日までの準備や当日の運営など、さまざまなところでボランティアの皆さんに協力いただきました。

福祉まつりを支える
ボランティア
volunteer



②日頃のボランティア活動を紹介した、各サークル手づくりのパネル展示／③キッズコーナーでは、来場いただいた子どもたちに、さくらんぼさんが用意した「ここたん写真立て④」の工作で楽しんでいただきました／⑤くるみの会の、京丹波の食材を使った「秋のいどり団子」試食コーナーも大好評／⑥講演会で、話を文字にしてスクリーンに映し出す要約筆記ボランティアの皆さん



こことん cocoTan イラストコーナー

福祉まつり

広報やホームページ等で募集しておりましたこことんのイラストについて、多数の応募をいただき福祉まつりの会場で展示しました。数回に分けて、みなさんの作品を掲載していきます。



上原 勇磨 くん
7才 (高岡)



堀林 柊亮 くん
10才 (須知)



樹山 大督 くん
8才 (上野)



橘 明伸 くん
7才 (中台)



田中 天音 ちゃん
6才 (鎌谷中)



八木孝一朗 くん
8才 (橋爪)



石田 沙奈 ちゃん
11才 (本庄)



仕事のときのココタン

藤田 笑央 ちゃん
10才 (本庄)



田井 茉愛 ちゃん
10才 (本庄)

共同作業所 NEWS

作業所で行う就労支援



京丹波町共同作業所では：

障がいを持つ方々が地域の一員として自分らしい生活が出来るよう、就労訓練や生活能力向上のための援助を行っています。

◆問い合わせ先◆

丹波本所 ☎82-2015
瑞穂支所 ☎88-5200
和知支所 ☎84-5005

企業・個人・行政の ご理解とご協力のもと

①地域の農家から依頼された枝豆の葉取り作業／②京かんざしの調製作業。作業は3支所で協力して、丁寧に行います。

このように地域の皆さんからご理解をいただくことは、障がいを持つ利用者の働く意欲と自信につながるだけではなく、地域の一員として共に暮らせるまちづくりが、確実に広がっていることと喜んでいます。



作

業所では、さをり織りなどの自主製品作りのほか、アルミ缶回収や空調設備コード等の加工、香典返しセット

箱詰め、細ねぎ調製作業・京かんざし調製作業や枝豆の葉取り作業などを行っています。

これらは地域の企業や個人農家の方々の温かい

ご理解のもと、作業（仕事）をいただき収益とさせていたいています。

また、京丹波町からも水辺公園（須知）、琴滝公園（市森）の清掃管理や、下水道施設の草刈りなどの請負い作業委託を受け、利用者の皆さんの給料として支給しています。



住みなれた地域で安心して暮らすお手伝いをします

社協サービスの紹介

社協では、介護保険サービスの他にも、住みなれた地域での生活が継続できるように様々な事業を実施しております。

心配ごと相談所 (厚生福祉事業)

一般相談は、暮らしの心配ごとや悩みに相談員（民生児童委員、人権擁護委員、行政相談員、行政担当者）が相談に応じます。各支所、年4回行われています。

弁護士による無料法律相談は、各支所、年2回行っています。予約制となっていますので、事前にお電話でご連絡下さい。どちらも秘密は厳守されます。相談料は無料です。

《今年度の予定》

一 般 相 談		無料法律相談(予約制)	
日 時	場 所	日 時	場 所
2/10(月)13:00~15:30	丹波	2/10(月)13:00~15:30	丹波
3/10(月) 9:00~11:30	和知		



【申込み・お問合わせ】京丹波町社協本所・瑞穂支所 86-1440 丹波支所 82-0126 和知支所 84-1833

安心、安全のまちづくりに向けて...

26年度福祉関係予算要望書を 手渡し町長と懇談!!



京丹波町社会福祉協議会では昨年12月16日(月)役場本庁において、町理事者との懇談会を実施しました。

当日は、寺尾豊爾町長をはじめ、畠中源一副町長、岡本佐登美保健福祉課長同席のもと、町社会福祉予算に関する要望書を寺尾町長に手渡し、平成26年度のさらなる地域福祉充実に向けて、引き続き町行政からの支援をお願いしました。

第62回 京都府社会福祉大会

昨年10月31日(木)京都テルサで開催された第62回京都府社会福祉大会において、京丹波町から次のみなさまが表彰を受けられました。おめでとうございます。

◆社会福祉事業・ボランティア功労者知事表彰

(敬称略・順不同)

民生委員・児童委員 正田 恭丈 (和知)
社会福祉事業特別功労者 坂本ひろみ (社協職員)

◆京都府社会福祉協議会会長表彰・感謝

民生委員・児童委員特別功労者 石田 美恵 (丹波)
田中 強 (瑞穂)
乾 きよの (和知)
社会福祉事業特別功労者 中村 弘 (桜梅会)
波瀬 孝澄 (社協役員)
友金 幸夫 (社協職員)
ボランティア功労者 富田萩の会 (丹波)
琴城流大正琴琴麗会
和知大正琴同好会 (和知)
社会福祉事業協力者 高山 納 (丹波)
堀 幹男 (和知)

◆京都府共同募金会 会長表彰・感謝

法人・団体寄付
梅田仏教会 (瑞穂)



